
共同研究参加大学募集要項

研究課題「大学スポーツアドミニストレーター配置に関する実証研究」

1. 研究の趣旨

国は成長戦略の一つとしてスポーツ立国を掲げており、第2期スポーツ基本計画には施策目標として、「我が国の大学が持つスポーツ資源を人材輩出、経済活性化、地域貢献等に十分活用するとともに、大学スポーツ振興に向けた国内体制の構築を目指す。」と記されています。そして、その具体的な施策としてスポーツ局の設置や資金調達力の向上、日本版NCAAの創設などがあげられております。加えて、大学スポーツアドミニストレーター（以下、SA）の配置も示されており、数値目標として100大学に配置することが掲げられています。そして、文部科学省の来年度予算案にはこれらの関連経費として1億円が計上されています。しかし、SAの業務内容やその効果、配置に関する課題、研修プログラムの開発など多くの課題があります。そこで、これらの課題を机上の議論で済ませるのではなく、参加大学と共に実証研究を行い、課題の分析とノウハウの蓄積を行います。

なお、本研究は(株)電通と共同で行うものです。

2. 調査実施期間

2017年4月から1年程度（当面）

3. 実施方法と参加条件

- (1) (株)電通スポーツ局からSAを参加大学へ派遣し、その経験を分析します。
- (2) SAの通常業務（月1回～週1,2回の学内関係者との打ち合わせ）に関する人件費は不要です。
- (3) SAに係る交通費は、原則として無料ですが、希望大学数および訪問回数によって予算の上限に達する場合は、当該大学と相談の上、負担していただくことがあります。
- (4) SAの主な業務は、コンサルティング（ブランディング、ガバナンス、施設、リスクマネジメント、財務）、広報、マーケティングなどです。
- (5) 人件費以外で、実際の作業で発生する費用はその都度、参加大学と相談の上、負担していただきます。
- (6) 研究は後述の通り、参加大学とSAが合意の元に段階的に進めていきます。大学の事情により、最終段階まで進まないこともありますし、途中で終了することも想定されます。研究の経過において、参加大学とSAに損害が生じた場合、本連合は責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- (7) 研究から得られた知見のうち、参加大学の事例に関しては当該大学と(株)電通、事例研究から得られた一般的な事項に関しては(株)電通と本連合が有し、守秘義務を遵守した上で、それぞれの責任に置いて、有効活用します。参加大学校の研究結果を大学紀要などに発表することは差し支えありません。本連合としては、個別事例の公表は行わず、得られた知見は研修プログラム開発に利用します。

4. 研究のスケジュール

- 第1段階 学内調整 パイロットスタディ参加の意思決定（キーマンに対する説明）
（約1か月 訪問回数0～3回）
- 第2段階 ヒアリング 現状把握
（約2週間 訪問回数1～2回）
- 第3段階 課題発見 アクションプログラムの考案
（約2週間～1か月 訪問回数1～3回）
- 第4段階 アクションプログラム実施
（約1年 訪問回数3～6回）

5. 参加申込・問い合わせ先

- (1) 本連合の会員校で、「大学スポーツ推進宣言」に署名していることを条件とします。
- (2) 応募多数の場合はご希望に添えないことがありますのであらかじめご承知おきください。
- (3) 参加申込は本連合ホームページから参加登録フォームを使って、以下の事項をお知らせください。
大学名、所属、職名、申込者氏名、メールアドレス、大学住所、希望事項など
<http://daitairen.or.jp/em/mail.cgi?id=sa2017>
- (4) 問い合わせ先
課外活動支援特別委員会 長倉富貴（山梨学院大学） < f-nagakura@ygu.ac.jp >

以上